

令和7年度進行管理・評価シート
浜松市歴史的風致維持向上計画（令和4年3月25日認定）
（令和7年3月13日最終変更）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 浜松市景観形成基本計画等との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
(1)歴史的建造物の保存・活用の推進に関する事業		
1 二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業	3
2 光明山古墳保存活用事業	4
3 旧田代家住宅保存活用事業	5
4 蛸塚・伊場遺跡再生プロジェクト	6
5 浜名城跡保存活用事業	7
6 三岳城跡保存活用事業	8
7 歴史的建造物保存活用事業	9
8 龍潭寺山門保存修理事業【実施済】	10
9 寶林寺仏殿・方丈管理事業	11
10 旧浜松銀行協会(木下恵介記念館)管理運営事業	12
11 鴨江アートセンター(旧浜松警察署)管理運営事業	13
12 歴史的風致形成建造物保全活用事業	14
(2)歴史的建造物の周辺環境の保全と向上に関する事業		
1 歴史的集落・まち並み景観保全対策事業	15
2 堀川(要害堀)周辺空間整備の検討	16
3 指定棚田地域の保全	17
4 秋葉山表参道の美装化【実施済】	18
5 国道301号歩道の美装化(三ヶ日町岡本)【実施済】	19
(3)歴史や伝統を反映した人々の活動の継承と活性化に関する事業		
1 無形民俗文化財保存・伝承事業	20
2 無形民俗文化財公開・活用等事業	21
3 無形民俗文化財活性化支援事業	22
(4)歴史文化を活かした観光振興・地域活性化に関する事業		
1 浜松市地域遺産センター整備事業	23
2 浜松市認定文化財活用事業	24
3 文化財防災ボランティア養成事業	25
4 指定文化財等のデジタルアーカイブ事業	26
5 中山間地域の魅力発信事業	27
6 浜名湖観光圏整備推進事業【実施済】	28
7 浜名湖ガーデンツーリズム推進事業	29
8 浜名湖「湖北五山めぐり」推進事業	30
9 歴史文化資源案内板整備の検討	31
10 浜松・浜名湖地域 食×農プロジェクト推進協議会事業	32
11 佐鳴湖漕艇活動顕彰事業【実施済】	33
12 レガシー伝承事業	34
13 農村歌舞伎伝承・公開施設整備事業【実施済】	35
14 重要文化財宝林寺活用事業	36
15 内山真龍資料館活用事業(田代家住宅美術工芸品等調査活用)	37
16 二俣歴史文化塾	38
17 浜松・浜名湖DMO機能強化等支援事業	39
18 歴史的風致維持向上支援法人との連携	40
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用	41
2 文化財及び文化財保存活用施設の管理	42
3 文化財の保存及び活用の普及・啓発	43
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	44
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 住民意識や認知度の向上	45

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	46
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
計画の推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

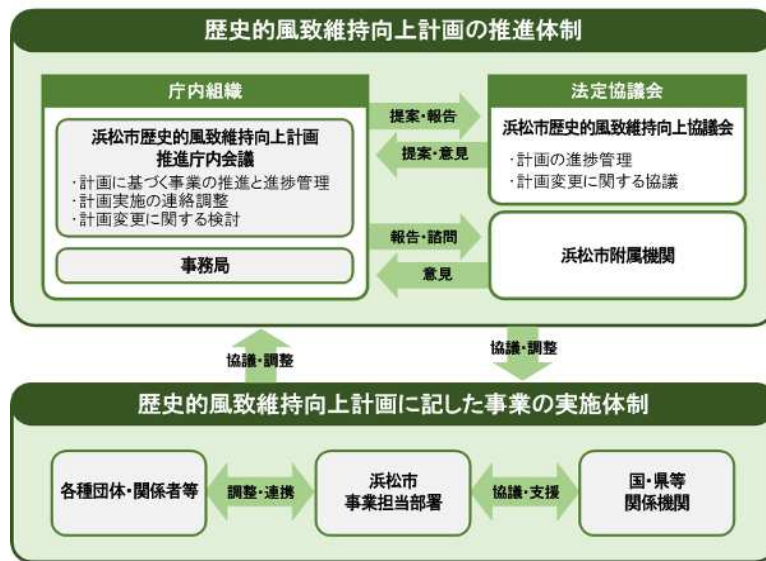
計画に記載している内容
 計画策定を担っていた「浜松市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会」を「浜松市歴史的風致維持向上計画推進庁内会議」と改編し、行政内部における計画の進行管理及び連絡調整を行うこととする。計画変更に関わる検討事項がある場合は、「浜松市歴史的風致維持向上協議会」のほか、関係する附属機関に意見を求めるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「浜松市歴史的風致維持向上計画推進庁内会議」委員へ対し、必要な情報を随時共有し、計画実施の連絡調整を行った。
 また、「浜松市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会)」を令和8年3月5日に開催し、各事業の進捗報告における意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、庁内連携を図り、歴史まちづくり計画に記した事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等



計画の推進体



歴史的風致維持向上協議会の様子(開催日:令和8年3月5日)

**評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策**

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
浜松市景観形成基本計画等との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- 歴史的風致の維持・向上により、歴史・文化を生かした個性と魅力ある都市を形成する
- 良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項などを示すとともに、地区の特性に応じた景観誘導を図る

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成20年策定の浜松市景観計画に基づき、一定規模の建築行為等に対し地区の特性に応じた景観誘導を行った(届出件数 令和7年度:91件 ※R8.1末時点)

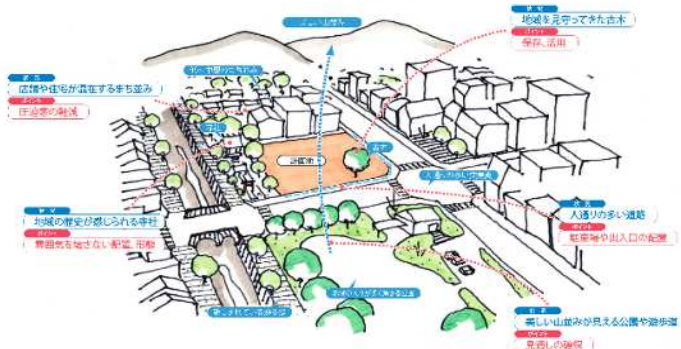
○景観、屋外広告物、緑の保全及び育成並びに風致の維持に関する事項の適正かつ円滑な運営を図る目的のため必要に応じて景観審議会を開催(令和7年度は1月末時点で開催実績なし)

○景観法及び文化的景観制度を活用して特徴的な景観地の保全に取り組む先進都市の視察を行った(愛媛県宇和島市及び北宇和郡松野町)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	浜松市景観形成基本計画等の策定から10年以上が経過しており、これまでの取り組みや社会情勢の変化などを踏まえた見直しの検討を行う。

状況を示す写真や資料等

●計画地の状況をまわりの景観から読み取り、その地に合った景観誘導を行う



□ 届出が必要な行為・規模

	届出対象行為
建築物	新築、増築、改築若しくは解体、 外観を変更することとなる修繕 若しくは模様替え又は色彩の変更 ・高さ(※1)15mを超えることとなる建築物 ・同一敷地内における建築物の建築面積の合計が1,000㎡を超えることとなる建築物 (当該建築物と一体となる工作物を含む) (当該行為の部分の延べ面積の合計が10㎡以下の場合を除く)
工作物	新設、増築、改築若しくは解体、 外観を変更することとなる修繕 若しくは模様替え又は色彩の変更 ・高さ(※2)15mを超えることとなる工作物 (当該工作物と一体となる建築物を含む)
土の採取等	切土、床堀その他の土地の掘削をする行為又は埋土若しくは盛土をする行為(※3) ・行為を行う地区の面積が1,000㎡以上で又は土の数量が2,000㎡以上の行為 ・行為を行う区域及びその周辺の地域が平地の場合で、断面の高さが2m以上のもの又は深さが1m以上のもの

■景観法及び文化的景観制度を活用して特徴的な景観地の保全に取り組む先進都市の視察



ゆずみずがうら

宇和島市景観計画区域「遊子水荷浦地区」



おくうち

松野町景観計画における重点区域「奥内地区」

**評価軸③(1)1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和11年度

支援事業名 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 総合調査及び保存活用計画に基づき、整備基本計画を策定した後、二俣城跡及び二俣城跡周辺の整備事業を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、今後の実施設計に必要なデータを取得するための地形詳細測量のほか、遺構顕在化や眺望改善を目的とした伐採等の植生整備を実施した。また、石垣安定度調査や環境整備事業も継続して実施し、今後の史跡整備や保護のために必要な情報の取得や、史跡見学者の安全性・利便性の向上等に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施の中で、実施設計や整備工事のためさらなる情報収集や調査、事業推進体制の充実等の必要性が顕在化しており、引き続き必要な対応を講じていく。また、崩落防止や現状維持のための措置が必要な石垣については、早期における対応策の検討や、調査・観察を継続していく。

状況を示す写真や資料等

植生整備事業



石垣安定度調査



評価軸③(1)2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
	項目	現在の状況

光明山古墳保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間	令和2年度～令和11年度
------	--------------

支援事業名	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業
-------	--------------------

計画に記載している内容	史跡光明山古墳について、適切な保存と維持管理及び活用の方針・手法・現状変更の取扱基準などを定める。
-------------	---

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

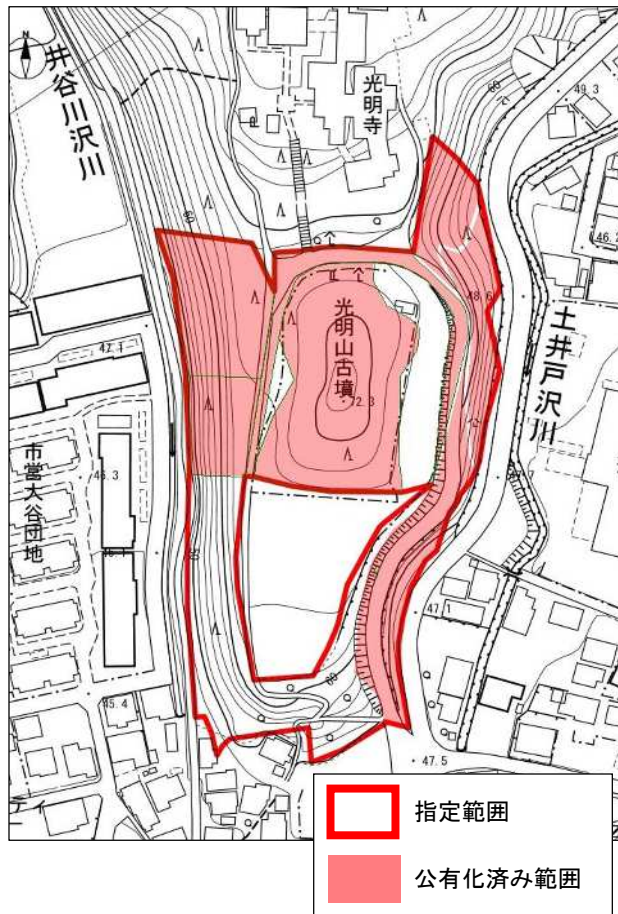
古墳の顕在化及び適切な管理と保存、また見学の安全性・利便性維持のため、除草や低木伐採等の環境整備事業を実施した。また、発掘調査成果の報告書を令和7年度末に刊行した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
----------------	--------------------------

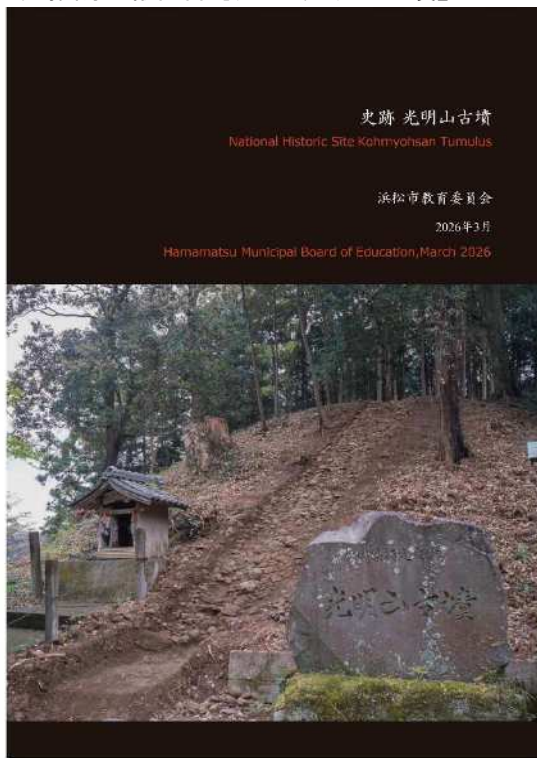
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	環境整備の実施など史跡の適切な保存と管理に努めるとともに、発掘調査の成果をもとに、今後の保存活用の方針・手法・現状変更の取扱基準の作成に向けた内部協議を実施していく。
--	---

状況を示す写真や資料等

光明山古墳 指定範囲及び公有化済み範囲



発掘調査報告書『史跡 光明山古墳』



評価軸③(1)3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

旧田代家住宅保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

事業期間	令和5年度～令和12年度
------	--------------

支援事業名	登録文化財保存修理・公開活用事業
-------	------------------

計画に記載している内容	地盤強化を含めた耐震補強・保存修理を検討し、散策路の休憩施設及び歴史文化ガイダンス施設としての機能を高める。
-------------	--

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

国補助事業として耐震補強等工事に係る基本設計を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	進行に応じて、国・県との事業内容や事業期間の調整が必要となる。
--	---------------------------------

状況を示す写真や資料等



旧田代家住宅（主屋） 外観



旧田代家住宅（主屋） 内部

評価軸③(1)4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和7年度
蛭塚・伊場遺跡再生プロジェクト	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度
支援事業名	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業
計画に記載している内容	史跡蛭塚遺跡について、保存活用計画及び整備計画を定め、老朽化が進んだ施設の再整備を行い、合せて隣接する博物館、伊場遺跡の整備活用を図る。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
史跡蛭塚遺跡は、整備検討会にて有識者の意見を聞きながら整備実施設計と一部の工事（樹木伐採、工作物撤去等）について国庫補助を受け実施した。また、整備予定箇所を中心に9次発掘調査を行い、遺跡の広がりや遺存状況を確認したほか、他地域の史跡整備状況の視察などの情報収集を行った。 伊場遺跡については、伊場遺跡群出土品の重要文化財指定を契機に浜松市博物館特別展「伊場遺跡群と弥生時代後期の文化」を開催し、図録を刊行した。また、市民向けの講座やシンポジウム、遺跡見学会などを実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	蛭塚遺跡の再整備事業と博物館リニューアル事業を有機的に連携させていく必要があり、今後その具体的な方策について検討していく。

状況を示す写真や資料等



浜松市博物館特別展「伊場遺跡群と弥生時代後期の文化」展示会場風景



蛭塚遺跡整備完成イメージ



蛭塚遺跡9次発掘調査風景



蛭塚遺跡整備事業に伴う視察(史跡北黄金貝塚)

評価軸③(1)5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
浜松城跡保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和11年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市指定史跡浜松城跡の価値を高め、保存・活用することを目的に、発掘調査や文献調査などの詳細調査を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

浜松城跡の石垣の安全性を把握し、対策を講じるための石垣調査を継続して実施した。また、浜松城跡の歴史的評価について総合的に調査・研究するための総合調査を進めた。

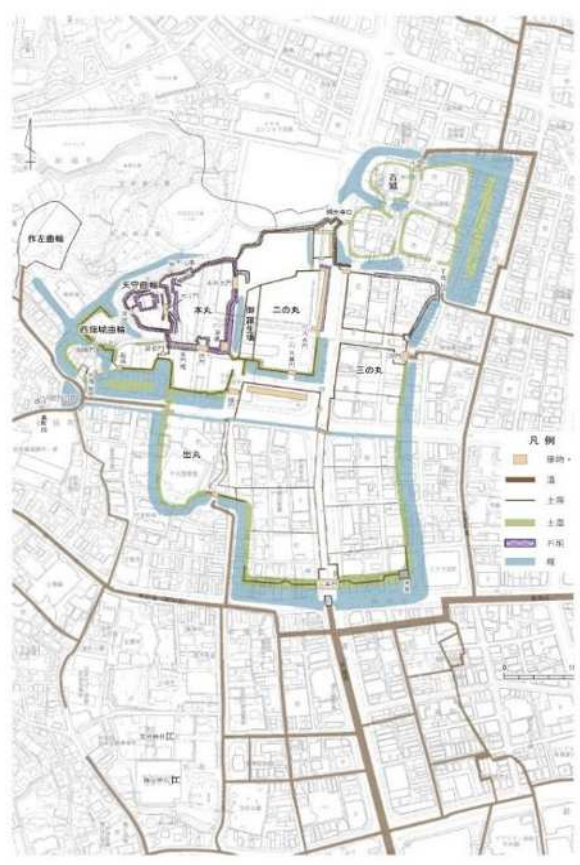
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

総体としては計画どおり進捗しているが、今後の史跡の適切な管理と保存のための「市指定史跡浜松城跡保存活用計画」策定については、庁内調整に時間を要すことから、事業期間を令和9年度まで再延長した。

状況を示す写真や資料等

浜松城跡復元全体図



浜松城跡石垣調査状況



評価軸③(1)6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
		項目	現在の状況
		三岳城跡保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和12年度

支援事業名 史跡等保存活用計画策定事業費、歴史生き生き！史跡等保存活用整備事業

計画に記載している内容 史跡三岳城跡について、指定範囲を明確にし、適切な保存と維持管理及び活用のための方針・手法・現状変更の取扱基準などを考える。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

指定範囲について現地踏査を実施した結果、指定範囲を示す構造物は確認できなかった。事業実施の方向性について、庁内で検討中。

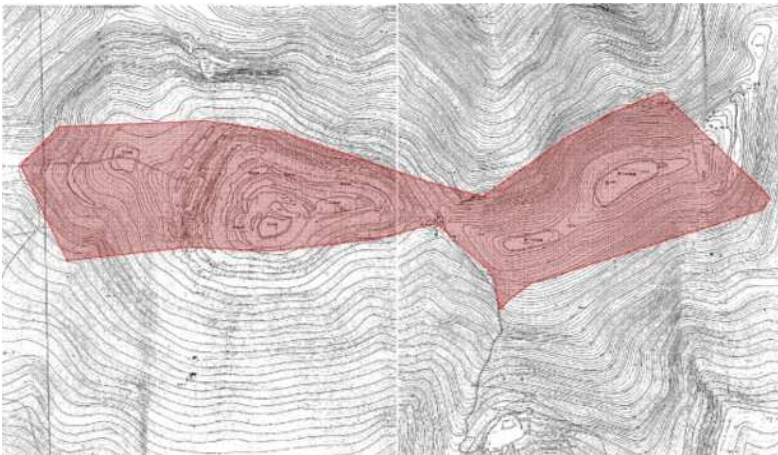
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

事業実施にあたって、不明確となっている指定範囲の復元が前提となるが、指定当時(1944年)の範囲や多数の地権者の確認に不測の時間を要している。また、復元のための測量作業には多額の費用が必要であるが、予算化が困難であることから、現地踏査の結果から実現可能な方法を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

史跡指定範囲（測量図との合成）



指定地内に所在する標柱類（地境杭）



評価軸③(1)7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的建造物保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 国宝重要文化財建造物保存修理強化対策事業、重要文化財公開活用事業、防災設備等事業、登録文化財保存修理・公開活用事業、文化資源活用事業費（観光拠点整備事業）静岡県文化財保存費補助金、浜松市文化財保存事業費補助金、市単独事業（対象により異なる）

計画に記載している内容 有形文化財(有形の民俗文化財を含む)・国登録有形文化財・市の認定文化財(浜松地域遺産)など歴史的建造物の修理・修景により、歴史的風致の核となる建造物の保存及び活用を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

市指定有形文化財「小松秋葉山常夜燈」の防災施設である覆屋の修理を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

計画的に修理を行うため、所有者との情報共有を図っている。また、緊急の保存修理が発生した際には応急処置及び速やかな保存修理の調整が必要となるため、関係機関等と連携して対応する。

状況を示す写真や資料等



小松秋葉山常夜燈覆屋（工事着手前）



小松秋葉山常夜燈覆屋（工事完了後）

評価軸③(1)8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
龍潭寺山門保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和7年度

支援事業名 静岡県文化財保存費補助金、浜松市文化財保存事業費補助金

計画に記載している内容 龍潭寺山門について、令和3年度に建物調査及び耐震計画作成を行い、令和4年度から2年間で保存修理を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度12月末に事業完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	—
--	---

状況を示す写真や資料等



龍潭寺山門（正面） 工事着手前



龍潭寺山門（裏面） 工事着手前



龍潭寺山門（正面） 工事完了後



龍潭寺山門（裏面） 工事完了後

評価軸③(1)9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
		項目	現在の状況
		寶林寺仏殿・方丈管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和4年度～令和13年度		
支援事業名	指定文化財管理事業、静岡県指定文化財管理事業費補助金		
計画に記載している内容	重要文化財寶林寺仏殿・方丈の防災設備の修理、及び、点検を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
重要文化財寶林寺仏殿・方丈を適切に維持するための防災設備について年2回の点検を行った。また、防災設備を適切に維持管理するため、今後見込まれる修理計画について継続調整している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	防災設備を適切に維持管理するため、今後も継続して点検を行うとともに安定的に事業を進める。		

状況を示す写真や資料等



放水銃、避雷針、消火栓など防災設備の点検を実施した

評価軸③(1)10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
旧浜松銀行協会(木下恵介記念館)管理運営事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 浜松市指定有形文化財(建造物)である旧浜松銀行協会は、維持活用を目的に、浜松ゆかりの映画監督・木下恵介の記念館として建造物を維持したまま活用が図られている。今後も良好な景観が維持され、人びとが集うように事業を継続するため、指定管理者に管理運営を包括的に委託する。また、必要な時点で中長期的な文化財の維持保存を目指し、修繕などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定管理者による施設を活用した多彩な事業を展開したことで、市民の利用が促進され、建物の歴史的価値が周知された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き建造物が活用されるよう、指定管理者と情報共有を図る。
--	--------------------------------

状況を示す写真や資料等

施設管理運営状況(イベント実施状況写真)



木下恵介監督関連展示



木下恵介監督作品に関するトークイベント



アウトリーチ映画上映会



評価軸③(1)11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
鴨江アートセンター(旧浜松警察署)管理運営事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 浜松市認定有形文化財(建造物)である旧浜松市鴨江別館(旧浜松警察署)は、維持活用を目的に、鴨江アートセンターとして建造物を維持したまま活用が図られている。今後も良好な景観が維持され、人びとが集うように事業を継続するため、指定管理者に管理運営を包括的に委託する。また、必要な時点で中長期的な文化財の維持保存を目指し、修繕などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定管理者による施設を活用した多彩な事業を展開したことで、市民の利用が促進され、建物の歴史的価値が周知された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き建造物が活用されるよう、指定管理者と情報共有を図る。
--	--------------------------------

状況を示す写真や資料等

施設管理運営状況(イベント実施状況写真)



文化交流事業の推進に関する事業 ワークショップ各種



地域の文化芸術と協働した事業



アーティスト・イン・レジデンス事業

評価軸③(1)12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
	項目	現在の状況
	歴史的風致形成建造物保全活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和7年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致の維持及び向上を図るうえで必要かつ重要と認められる建造物を、法に基づき、市が歴史的風致形成建造物として指定し、保全・活用を図るもの。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、歴史的風致形成建造物の指定に向け、建造物所有者や庁内関係課と調整を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

建造物所有者の意向を尊重しながら、公開・活用に向けた調整を図る。

状況を示す写真や資料等



旧舞坂脇本陣（指定候補）
表浜名湖重点地区内



鈴木八右衛門邸（指定候補）
奥浜名湖重点地区内



旧二俣町役場（指定候補）
天竜二俣重点地区内

評価軸③(2)1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的集落・まち並み景観保全対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な集落や伝統的なまち並みなど本市の特徴的な景観地について、歴史的変遷、自然的環境及び生業・生活の調査を行うことで、景観地を形成する建造物や人々の営み・活動の現状を把握し保存対策の検討に活用する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和8年2～3月、天竜二俣重点地区内のクローバー通り周辺を対象地とし、蔵など歴史的建造物の現況調査を実施した結果、54件を確認した。 ・令和8年3月23日、地域の方を対象とした歴史的建造物の保全・活用に関する講座を開催した。（参加者7人）また、調査対象の建物所有者を対象とした建物相談会を開催した。（参加者1人）			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的建造物の現況調査により整理・把握した情報を、今後の歴史まちづくりに活用していく。		

状況を示す写真や資料等

1. 歴史的建造物の現況調査の実施

- 調査期間 令和8年2月中旬から3月中旬
- 調査範囲 クローバー通り周辺（右図「調査範囲」のとおり）
- 調査実施者 公益社団法人静岡県建築士会
- 調査内容 外観の写真撮影、改修箇所や用途のヒアリング
- 調査結果 平成20年度に同地区を調査した際には、歴史的建造物を78件確認したが、今回（令和8年2月）に調査したところ、24件が滅失し、54件を確認した。



【図】調査範囲

2. 歴史的建造物の保全・活用に関する講座の開催

- 日時 令和8年3月23日（月）午後2時から午後3時まで
- 会場 二俣ふれあいセンター2階 講座室（二俣町二俣184-32）
- 内容 ①歴史まちづくり計画の概要について
②現況調査の報告について
③歴史的建造物の保全・活用について

※申込不要（直接会場へお越しください）、参加費無料

3. 歴史的建造物の保全・活用に関する相談会の開催（無料・要事前申込）

- 日時 令和8年3月23日（月）午後3時から午後4時まで
- 会場 二俣ふれあいセンター2階 講座室（二俣町二俣184-32）
- 内容 建物の保全や活用でお困り事などの無料相談
例）雨漏り、外壁修理、冷暖房の効果向上、段差解消など
- 対象者 歴史的建造物の所有者の方
- 対応者 公益社団法人静岡県建築士会



講座の様子

評価軸③(2)2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
堀川(要害堀)周辺空間整備の検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和5年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 堀川(要害堀)周辺において、歴史的なまち並みに調和した空間の整備を図るため、関係機関との協議や実地調査などを実施する。歴史的建造物周辺や祭礼ルートなどのうち、歴史的まち並み景観の維持が必要となる路線や地点を選定し、必要に応じて維持修繕を検討することで、魅力的な景観形成と住環境の整備を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

堀川(要害堀)周辺の市道整備について、庁内関係課による課題共有や改善方法を検討をした。また、「歴まち×『Pokémon GO』」との連携によりポケストップを設置しており、昨年に引き続き周辺の歴史文化資源との回遊性を高めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



堀川(要害堀)周辺の現況

評価軸③(2)3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
指定棚田地域の保全		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和13年度

支援事業名 指定棚田地域協議会事業、中山間地域等直接支払交付金(R3年度～滝沢、R4年度～久留女木)

計画に記載している内容 棚田地域振興法に基づき指定されている指定棚田地域において、適切な維持管理による棚田等の景観保全のほか、棚田等を軸とした地域活性化の取組を行う。指定棚田地域振興協議会を設立し、指定棚田地域振興活動計画を策定するとともに、国の認定を受けた上記計画に基づく活動を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

「久留女木の棚田お米作り教科書」を発行した。1年間の米作りが50ページにわたって解説され、さらに二次元バーコードを読み取るとその作業を動画で見ることができる。農業初心者にもわかりやすい解説で「自分で食べるものだから自分で作る」をスローガンに一般の人でもお米作りを学べる「久留女木棚田塾」を開設している。共有の農業機械などを保管しておく倉庫の建設が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策（特にシカの侵入への対策）として防護柵の設置が必要。 ・見物人や観光客に対する地図や案内看板、啓発看板が無いため必要。
--	---

状況を示す写真や資料等

【綿花の種まき】
遠州織物を使用する地元アパレル企業とタッグを組み、久留女木の棚田の耕作放棄地へ「綿花の種まき」を行った。綿花の畑の整備。（草刈り、支柱立て、誘引、追肥、防除）



綿花の収穫の様子

【久留女木の棚田お米作り教科書】
田おこしから、田植え、稲刈り、脱穀、粃摺り、さらに土壌分析から食味検査まで、1年間のお米作りが50ページにわたって解説され、さらに二次元バーコードを読み取るとその作業を動画で見ることができる。農業初心者にもわかりやすい解説で「自分で食べるものだから自分で作る」をスローガンに一般の人でもお米作りを学べる「久留女木棚田塾」を開設している。



【稲刈り体験会】
稲刈り体験会を開催。初心者に向けたスガイ作り、稲刈り、稲架けを行う。竜宮小僧の会で管理している6枚の田んぼすべてを刈り終え、干すことができた。体験会の様子はSBSテレビで放送された。



久留女木の棚田お米作り教科書

【久留女木地域振興協議会】
令和7年度事業計画の検討に向けた現地調査。獣害柵の補修。12月総会を開催し、総勢50人ほどが参加した。今後の協議会実施体制のあり方について語り、構成員から賛同を得た。引き続き久留女木地域振興計画を推進する。

【久留女木棚田 収穫祭】
12月14日11時00分から16時00分
地域住民と棚田耕作者、サポーター等関係協力者の交流
と発展を目的とした収穫祭を開催し、総勢200人余りが参加した。
・竜宮小僧サポーターとの交流
・静岡文化芸術大学引佐耕作隊等の取組発表
・棚田散策ツアー&大根抜き体験



収穫祭の様子

評価軸③(2)4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
秋葉山表参道の美装化		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和6年度

支援事業名 市単独事業、歴史的観光資源高質化支援事業

計画に記載している内容 秋葉山表参道(坂下宿周辺)の安全な通行を維持するため、歴史的まち並みと調和した修景防滑施工などによる空間整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

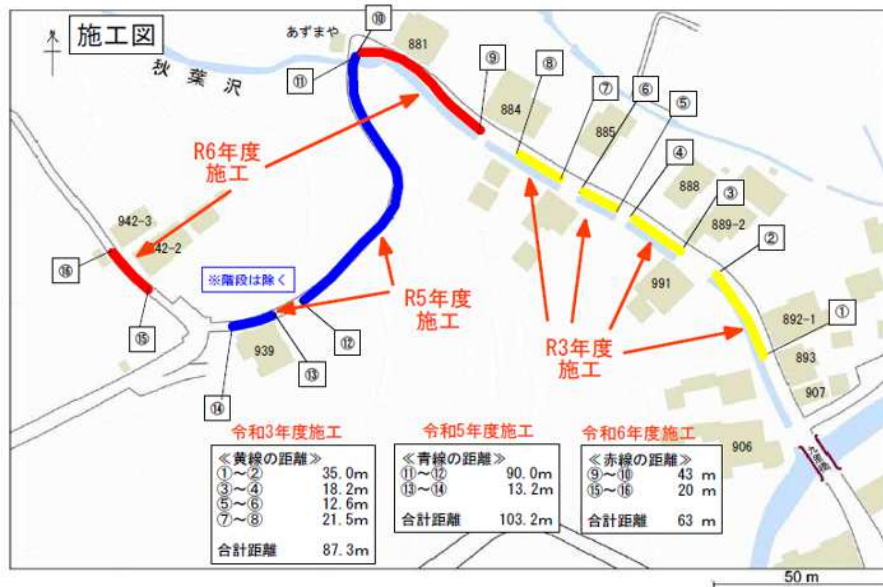
令和3年度、令和5年度に引き続き、令和6年度に美装化を実施した。
 (令和3年度) 実績 87.3 m / 当初計画 87.3 m
 (令和5年度) 実績 103.2 m / 当初計画 103.2 m
 (令和6年度) 実績 63 m / 当初計画 63 m
 (計画期間累計) 実績 253.5 m / 計画総延長 253.5 m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 景観に配慮し、安全かつ快適に秋葉山表参道を巡ることができる整備に向けて、防滑施工に努め、道路管理者及び自治会の同意を得たうえで進めた。

状況を示す写真や資料等

◆秋葉山表参道美装化予定路線



整備後



防滑塗装剤(自治会長と協議済)

令和3年度	第1期施工
令和4年度	関係者協議
令和5年度	第2期施工
令和6年度	第3期施工

評価軸③(2)5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
国道301号歩道の美装化（三ヶ日町岡本）	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 おんぞ祭りの行列ルート of 安全な通行を維持するため、歴史的な建築物と調和した修景舗装などによる空間整備を行うことで、観光誘客を推進しインバウンドの促進を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度に美装化を実施した。
 （令和7年度） 実績 42 m2 / 当初計画 42 m2

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

景観に配慮し、安全かつ快適に初生衣神社と濱名惣社神明宮を巡ることができる整備に向けて、自治会の同意を得たうえで進めた。

状況を示す写真や資料等

◆施工箇所：浜松市浜名区三ヶ日町岡本地内（初生衣神社前）



着手前



完成



図2-7-4 おんぞ祭りの行列

評価軸③(3)1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財保存・伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 文化財指定などされている無形民俗文化財の保存継承・活用のため、必要に応じて学識経験者などの指導・助言を得ながら、伝承基盤整備、次代へ継承する取組などに対して支援する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

無形民俗文化財の伝承基盤整備のため、浜松市文化財保存事業費補助金を活用して用具等更新、修理を実施した。また、市指定「勝坂神楽」の記録映像及びガイドブックを作成した。さらに、次代へ継承する取組として、浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会に委託し、児童・生徒・学生及び地域団体への継承活動について10団体程度への支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 文化財としての価値を維持するため、行政担当職員及び学識経験者等の指導、助言を適宜行った。

状況を示す写真や資料等

<次世代継承の取組>



川名のひよんどり授業



遠州大念仏への参加



寺野のひよんどり授業



雄踏歌舞伎子ども体験教室



横尾歌舞伎（子ども歌舞伎）



懐山のおくない授業



NPO法人わたぼうしランドデザイン協力の川名のひよんどり、勝坂神楽、勝坂神楽の授業



評価軸③(3)2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
		項目	現在の状況
		無形民俗文化財公開・活用等事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成17年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の歴史的風致を構成する祭礼や民俗芸能など伝統行事について、調査・記録の成果を公開するとともに活用する。		

を

会報誌「遠江・山と里の民俗」の第25号、26号（各4000部）を発刊し、令和7年～令和8年にかけて行われた市内の歴史的風致を構成する祭礼や民俗芸能などの伝統行事の調査・記録の成果を市内及び関連団体等に配布した。また、県文化財課が森町において開催した「ふじのくに民俗芸能フェスティバル」に浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会がブース出展し、活動をPRした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	紙媒体だけでなく、デジタルデータや動画データでの公開を考慮した取材、撮影を行う。

状況を示す写真や資料等



会報誌「遠江・山と里の民俗」第25号



祭礼・民俗芸能の現地確認、取材（川合花の舞、横尾歌舞伎、寺野のひよんどり）

評価軸③(3)3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財活性化支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	民俗芸能などの保存と振興の活性化を図るため、市を代表して民俗芸能などを披露する事業などに出場する団体に対する激励金の交付や、民俗芸能などを継承する団体の構成員を対象に、継承活動における課題を解決するため、相互の情報共有を図るとともに事例に基づく研修会を開催する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会と静岡文化芸術大学の共催により、天竜区に伝わる「懐山のおくない（国指定）」に関する面の展示を実施した。同時に「懐山のおくない」に関する講演会及びギャラリートーク、解説を交えた実演を披露した。 関東ブロック民俗芸能大会東京都大会に「西浦の田楽（国指定）」が出演し、ふじのくに民俗芸能フェスティバルに「川名のひよんどり（国指定）」が出演し、実演披露した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	解説付き実演披露が、保存会にとって活動継続のモチベーション向上と若者への次世代継承の貴重な機会となっている。適切な披露の場の創出と出演しやすい環境整備、イベントの周知を継続して実施する。		
状況を示す写真や資料等			

静岡文化芸術大学で開催した懐山のおくない講演会（講演、実演の様子、チラシ）



関東ブロック民俗芸能大会東京都大会
西浦の田楽 出演



ふじのくに民俗芸能フェスティバル
川名のひよんどり 出演



評価軸③(4)1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
		項目	現在の状況
		浜松市地域遺産センター整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和4年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内文化財に関する収集、調査、活用の拠点である地域遺産センターの改修工事を行い、文化財の保存及び企画展示や講座・講演会などの充実を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
施設や設備の老朽化等に伴う改修・修繕を随時実施し、施設や文化財の保存環境を整えている。また、年間を通して埋蔵文化財の調整・調査・整理作業等の業務を実施しているほか、通常展示や企画展示、体験事業やイベントの開催、講座や現地見学会の開催などを通じ、埋蔵文化財や地域の史跡などに関する情報発信、普及啓発を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	3階の有効活用を図るため、書庫・倉庫としての機能充実に必要な機器（什器等）の追加整備が引き続き必要である。また、展示やデジタル機器の更新等を含め、引き続き計画を進める。		

状況を示す写真や資料等

企画展「浜名湖北岸の古墳時代」※R6から継



企画展「はままつ文化財 20年のあゆみ」



イベント「ふれてみよう！考古学の世界」



センター3階保管資料の整理状況



評価軸③(4)2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
浜松市認定文化財活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	従来の文化財保護制度(指定・登録など)とは別に「認定文化財制度」を設け、比較的ゆるやかに、かつ幅広く、保存と活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は新たに3件を認定し、認定文化財は758件となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	毎年度募集、同年度内の新規認定を継続する。今後は、推薦内容を精査し、安定的な増加をはかる。		
状況を示す写真や資料等			
令和7年度新規認定文化財			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定No.759 ・ 大窪神社境内の石造物群 (中央区大久保町) ・ 有形民俗文化財 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定No.760 ・ 神ヶ谷町西組の引き舞台 附古文書21点 (中央区神ヶ谷町) ・ 有形民俗文化財 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定No.761 ・ 志都呂町一門の氏神社 棟札18点 (中央区志都呂町) ・ 歴史資料 			
			
			

評価軸③(4)3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
	項目	現在の状況
	文化財防災ボランティア養成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 質の高いヘリテージマネージャーの養成と配置に資する取組を行い、災害時だけでなく平時から活動できる人材を養成する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

平時から市内文化財に関心を寄せてもらえるよう、令和4年12月に創設された文化財サポーター制度に基づく事業をしている。
文化財修理見学会や、保存修理のサポート事業などを実施したほか、文化財関連行事等のメール配信などを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業開始から丸3年を経過するため、一旦、これまでの経過全体を振り返り、今後の取り組みに反映する。
--	--

状況を示す写真や資料等



令和7年7月3日
龍潭寺山門保存修理
竣工時見学学習会



令和7年8月4日
小松秋葉常夜燈龍燈（覆屋）修理
瓦解体・へら書き確認サポート作業

評価軸③(4)4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

指定文化財等のデジタルアーカイブ事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------------	---

事業期間	令和4年度～令和13年度
------	--------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	市民や来訪者ほかあらゆる人々が文化財を鑑賞できる機会が得られるようデジタルアーカイブを充実させる。
-------------	---

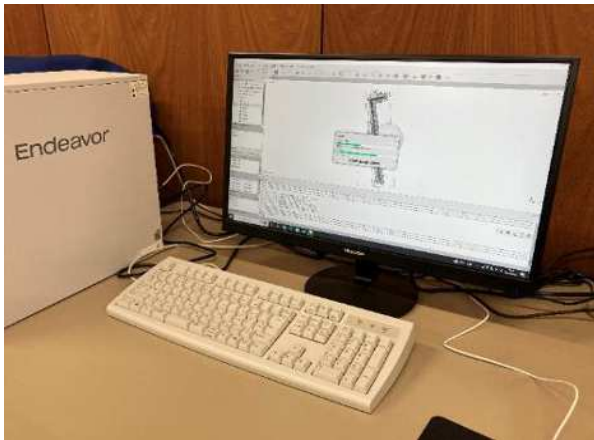
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

市指定「勝坂神楽」の記録映像を作成し、市公式HPでの公開を行った。また、埋蔵文化財発掘調査における調査記録作成や出土品の三次元記録（SfM/MVS（フォトグラメトリ））作成が可能な環境を整備し、発掘調査において運用ししたほか、発掘調査報告書や文化財パンフレットのPDF版を市HPや奈良文化財研究所が運用する「遺跡報告総覧」に掲載し、調査成果の公開に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
	デジタルアーカイブで鑑賞できる文化財として公開データの質を確保するため、撮影方法の検討、事前準備等を十分に行う。

状況を示す写真や資料等



SfM/MVSによる記録作成作業状況



遺跡報告総覧における発掘調査報告書の公開

評価軸③-23
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
中山間地域の魅力発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業、浜松市中山間地域プロモーション実行委員会事業(「ザ・山フェス」のみ)		
計画に記載している内容	中山間地域の魅力をPRするイベントを市内都市部の会場で開催し、都市内交流の活性化とシティプロモーションの推進を図る。また、中山間地域の課題解決に取り組むための市民交流会議や市内間交流を促進するために中山間地域を巡るイベントを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>■市単独事業：中山間地域の課題解決に取り組むための市民交流会議や中山間地域の魅力を体感できるワークショップやクイズラリーの開催を通して、中山間地域と都市部市民の市内間交流を促進させた。</p> <p>■ザ・山フェス事業：中山間地域の魅力が詰まった集客型イベント「ザ・山フェス」を開催し中山間地域のプロモーションを実施した。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ザ・山フェス事業：中山間地域へ足を運びたいとなるような、集客型イベント「ザ・山フェス」を開催する。		

状況を示す写真や資料等



はままつやまもりアドベンチャー事業



中山間地域事業ミリョク体感



令和7年度 ザ・山フェス事業

評価軸③(4)6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
浜名湖観光圏整備推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和5年度

支援事業名 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー事業、静岡県補助金

計画に記載している内容 地域の魅力発信と観光誘客のため、浜名湖観光圏のブランドコンセプトである「海の湖」を生かし、淡水と海水が混じり合う汽水湖である浜名湖ならではの着地型商品の企画と販売、サービスの質的向上、地域の人材育成、周遊促進、インバウンド対策などの施策を行い、観光地域づくりを推進する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

ブランド推進、広報宣伝、インバウンド推進、ガストロノミーツーリズム、海の湖カレッジ、インフラネットワーク、サイクルツーリズムの7つからなるワーキンググループによる事業を実施。着地型旅行商品の企画・販売を実施し令和5年4-12月で延べ784名参加。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	観光圏整備事業は令和5年度で区切りとなり、既存のDMO形成支援事業と一体化し観光地域づくりを継続的に実施していく。
--	---

状況を示す写真や資料等



景観保全のための地域事業者等と連携した清掃活動



歴史的資源を生かした旅行商品造成のためのファミツアー



インバウンド誘致のための海外旅行社との商談会



来訪観光客に対するアンケート調査

評価軸③(4)7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
浜名湖ガーデンツーリズム推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和13年度

支援事業名 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー事業

計画に記載している内容
令和元年4月に創設された庭園間交流連携促進計画登録制度（[通称]ガーデンツーリズム登録制度）に登録されている『アメイジングガーデン・浜名湖』計画を推進する。「浜名湖からはじまる感動四季めぐり」をテーマに、花の公園や日本庭園と、食・グルメ、温泉、サイクリングなどのアクティビティなどを組み合わせることで、来訪者に感動を提供するガーデンツーリズムを展開する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

「アメイジングガーデン・浜名湖」を国内外へPRするため、日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）でのウェブサイトの運営や同3か国語のパンフレットを各1,000部製作し、配布した。PR動画をYouTubeにて公開し、229回再生されている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和8年度から「葛城北の丸」が加入する見込みの為、啓発物を再作成する必要がある。

状況を示す写真や資料等



▲パンフレット

評価軸③(4)8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
浜名湖「湖北五山めぐり」推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～令和13年度		
支援事業名	浜名湖湖北五山連絡会事業		
計画に記載している内容	奥浜名湖地域にある国指定の重要文化財をはじめ多くの文化財を有する5つの寺院(初山宝林寺、龍潭寺、方広寺、摩訶耶寺、大福寺)を総称して「湖北五山」という。浜名湖「湖北五山」として統一したプロモーションを展開することで来訪者の回遊性を高めるとともに、周辺の歴史文化資源と連携したツアーやイベントなどを企画・実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「浜名湖湖北五山めぐり」のチラシを再構成し増刷する為に各所に調整中。(添付は再構成前)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域の観光協会を通じ、来訪者の確保に務めた広報活動を展開し、観光振興に資する企画を実施する。		
状況を示す写真や資料等			



「浜名湖湖北五山めぐり」のチラシ(表)



「浜名湖湖北五山めぐり」のチラシ(裏)

評価軸③(4)9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史文化資源案内板整備の検討	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和5年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 井伊家ゆかりの地の歴史・文化・景観など固有の地域資源を住民や来訪者に分かりやすく伝えるため、老朽化した案内板の更新・整備を検討する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

奥浜名湖地区（重点区域）の案内板の更新・整備検討のため、周辺地域を含む看板、案内板等の台帳（リスト）を整備・更新した。また、案内板を巡回し、現況の確認を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

看板、案内板の種別により対応が異なるため、都度確認が必要。

状況を示す写真や資料等

看板・案内板等の台帳整備（文化財関係台帳）

案内板の巡回、現況確認



評価軸③(4)10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
浜松・浜名湖地域 食×農プロジェクト推進協議会事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 農産品・水産物のブランド化を図るため、食や食文化を基軸として、観光コンテンツを組み合わせた魅力を国内外に向けて情報発信し、本市への誘客・消費拡大を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

当地域の食文化をテーマとする小学生向け体験プログラム「伝えよう！浜松・浜名湖地域のふるさとの味」を開催した。また、11月に実施した家康公祭りにおいて「浜松パワーフードブース」を設営しプログラムを実施することにより、浜松パワーフードをはじめとする当地域の食に関する魅力をPRし魅力の向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

誘客・消費拡大のため、更なる情報発信等を行う。

状況を示す写真や資料等



「伝えよう！浜松・浜名湖地域のふるさとの味」リーフレット



家康公祭りにおける「浜松パワーフードブース」

評価軸③(4)11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
		項目	現在の状況
		佐鳴湖漕艇活動顕彰事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和5年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	佐鳴湖を会場に行われた昭和32年の国体を契機に活動が盛んになった漕艇競技の魅力を市民に周知し、地域活動の活性化を図るため、講座・講演会などを開催する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
佐鳴湖の漕艇活動の普及啓発について、地域が主体となり歴史的・文化的な価値と魅力が認識され、佐鳴湖の恵みに育まれた活動全般への理解と継承への機運の醸成が図られた。所期の目的を達成したことから事業完了とする。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



佐鳴湖漕艇場 艇庫



講演会開催風景

評価軸③(4)12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
レガシー伝承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

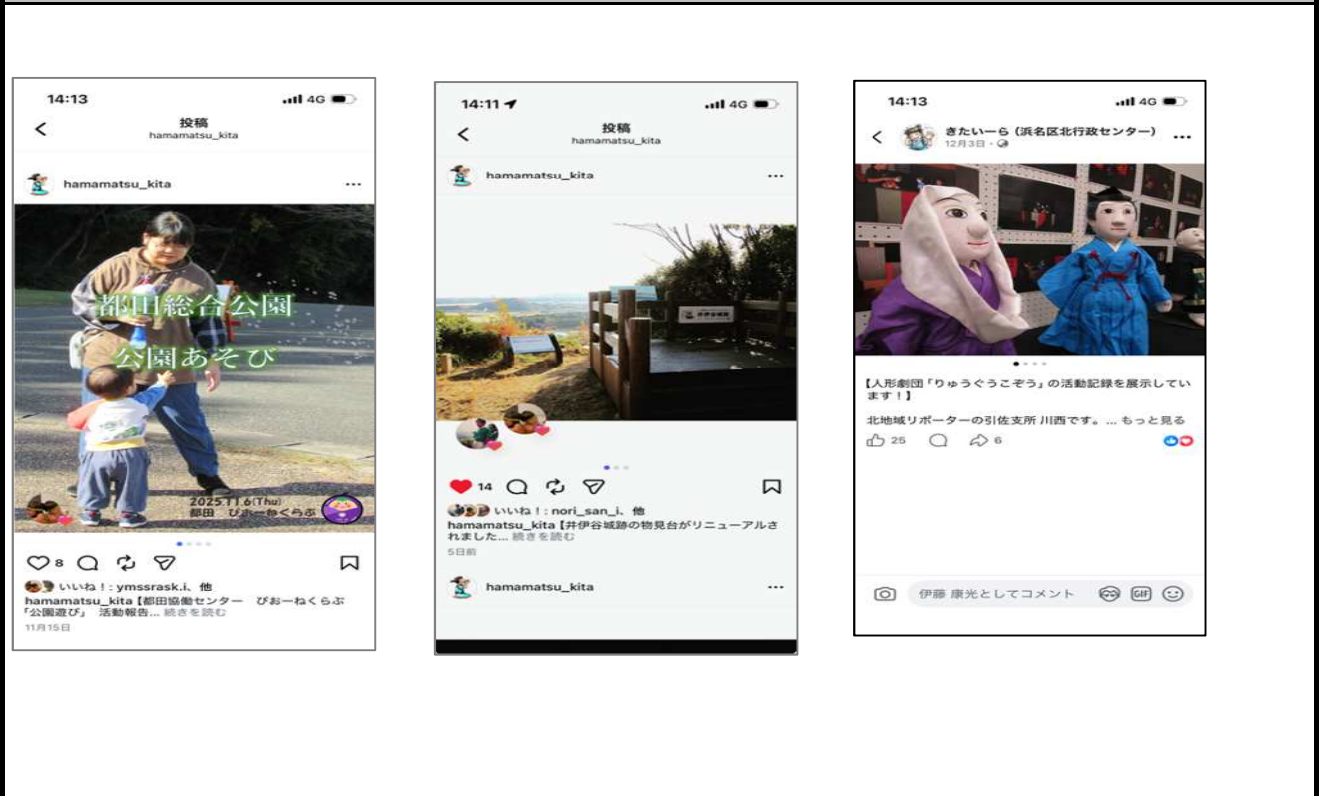
計画に記載している内容 大河ドラマ「おんな城主 直虎」の舞台となった奥浜名湖地域の歴史文化を活用した魅力発信事業など、市民協働で地域活性化施策を展開する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

この地域を領土とした家康公にあやかり、家康公を活用した地域の活性化や新たな魅力の創出につなげるための事業を行った。
 事業名：SNSを活用した地域の魅力発信
 ①「Facebook」や「Instagram」へ「きたいーら」という投稿ネームを立ち上げ、週2回～3回地域の情報や風光明媚な直虎ビューポイント、地域の取り組み活動、史跡等を投稿し魅力の創出を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	区版の広報誌が無くなり、北地域の情報発信ツール無くなってしまったため、公式SNSを立ち上げた。現在のフォロワー数は、「Facebook」が657人、「Instagram」が214人であり、1カ月あたりの視聴数は20,000回前後となっている。今後は、更なる視聴回数増を目指し、区民への周知方法を検討する。

状況を示す写真や資料等



評価軸③(4)13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
農村歌舞伎伝承・公開施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和5年度～令和6年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内で継承されている農村歌舞伎の楽屋兼用具収蔵庫、稽古場及び上演会場として用いられている施設を整備する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

市内で継承されている農村歌舞伎の楽屋兼用具収蔵庫、稽古場及び上演会場として用いられている施設の整備として、空調機の更新についての方針を決定し、令和5年度には設計を行った。また令和6年度には、空調更新工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	—
--	---

状況を示す写真や資料等

【工事前】



室内機
(多目的ルーム天井内)

空調機外観（多目的ルームほか）

室外機

【工事後】



室内機
(多目的ルーム天井内)

空調機外観（多目的ルームほか）

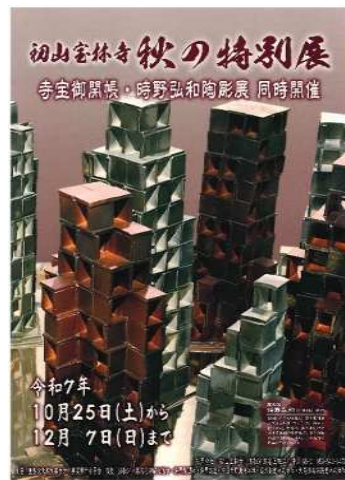
室外機

評価軸③(4)14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
重要文化財宝林寺活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成10年度～令和13年度		
支援事業名	重要文化財宝林寺活用事業実行委員会事業		
計画に記載している内容	宝林寺が所有する有形文化財(建造物や美術工芸品)を活用し、イベントや文化振興展、和楽器演奏会や煎茶教室などを実施する。境内の広場のほか伽藍を構成する重要文化財などの建造物を会場に、通常の文化イベントとは異なる特別なイメージや地域特性を演出する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
4月の「龍文坊大祭」では、太鼓の演舞が鳴り響くなか、マルシェも賑わい多くの来場者を迎えた。また、秋の特別展として重要文化財の建造物や境内の随所を会場にした「時野弘和陶彫展」を開催し、約3000人の拝観者に寺室のご開帳と時野先生の作品展、紅葉ついで庭園を堪能していただいた。秋のお茶会では古典的なお茶会とマルシェの統合型イベントを試みた。若者が茶の世界を体感し、高齢者がマルシェを利用するなど、老若男女が行き交う充実したイベントとなった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財を活用し、その価値と魅力を市民に周知するだけでなく、当該イベントの事業収入が文化財保護に活かされる仕組みづくりの検討を進める。		

状況を示す写真や資料等



龍文坊大祭 令和7年4月13日





秋の特別展 令和7年10月25日～12月7日



秋のお茶会ポスター 令和7年10月19日



秋のお茶会 令和7年10月19日

評価軸③(4)15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和7年度
項目	現在の状況
内山真龍資料館活用事業（田代家住宅美術工芸品等調査活用）	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和5年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	江戸時代からの旧家、田代家由来の美術品、古文書、書籍について、内山真龍資料館保管資料を中心に調査、活用方法の研究、展示、展示関連講座を開催する。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
内山真龍資料館田代家資料活用事業アドバイザーを設置し、内山真龍資料館にある田代家由来の書画の調査、台帳の作成等を進めている。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	書画の調査を進める中で生じた課題等について、書画を専門とする有識者から意見をいただきながら進めて行く。
状況を示す写真や資料等	
内山真龍資料館 	
田代家由来の書画「二侯十勝詩」（部分） 	

評価軸③(4)16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
二俣歴史文化塾	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和5年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 二俣地域の住民を中心に地元の歴史文化について学ぶため、年間を通じた講座を企画、準備し、開催する。二俣地域固有の歴史文化の魅力、人々の伝統的な活動、まち並みの特徴などを理解する機会を提供するとともに、域内の文化財、歴史的建造物や伝統的な活動などを実地で学ぶ機会を設ける。また、講座修了者が継続して地域の歴史文化に触れ、その伝播に関わることができる体制づくりを行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

二俣ふれあいセンター生涯学習講座の一環で二俣地区の歴史講座を実施した。
 ・見学会「壬生の郷歴史講座」
 【講師】ふるさとガイドの会【実施日】5月28日【参加者】二俣小学校3年生36名
 ・講座「郷土の歴史講座～堀尾氏の北遠支配～」
 【講師】坪井俊三先生【実施日】1月15日【参加人数】30名
 また、内山真龍資料館主催の特別展開連イベントとして以下のとおり開催した。
 ・ウォーキングイベント「歴史と文化のまち二俣を歩く～壬生の郷の歴史散策路～」
 【協力】ふるさとガイドの会 【実施日】11月15日 【参加人数】21名

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 歴史文化に興味があり講座等に参加するリピーターは多いが、地域の歴史文化の伝播に関わる体制づくりには至っていない。体制づくりに向けた講座の開催も検討していきたい。

状況を示す写真や資料等

二俣ふれあいセンター「壬生の郷歴史講座」



二俣ふれあいセンター「郷土の歴史講座」



内山真龍資料館ウォーキングイベント



評価軸③(4)17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
	項目	現在の状況
	浜松・浜名湖DMO機能強化等支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和6年度～令和10年度

支援事業名 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー事業

計画に記載している内容 地域が観光で稼ぐ力を強化するため、観光地経営の舵取り役となる地域連携DMOである（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューローの機能強化を図るとともに、当エリアの関係者と一丸となって事業を推進していくための施策

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

「観光地域づくり」「観光資源の効果的なPR」「観光DXの推進」という3つの戦略の柱に基づき、以下1～9の事業を推進している。
 1. 地域観光資源活用推進事業 2. 地域観光情報発信事業 3. 観光戦略管理事業 4. 海外誘客推進事業 5. 国内誘客推進事業 6. 広域連携事業 7. コンベンション誘致支援事業 8. 観光インフォメーションセンターの管理運営事業 9. 地域特産品販路開拓事業
 着地型旅行商品の企画・販売を実施し、令和7年4月-令和7年12月で延べ1,045名参加。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 5か年の戦略の2年目は「地域の商品生産力を爆上げする！」を基本方針として事業を推進してきた。年度内のコンテンツ作成数の目標数28に対して令和7年度上期末で既に23コンテンツの作成を完了しており、体験プログラム参加人数、参加費収入ともに昨年同月比を上回っており、計画通り順調に推移している。

状況を示す写真や資料等



浜名湖でよみがえる江戸の旅路
「今切れの渡し」と宿場町散策



舟で出会う“アマモ”と浜名湖の秘密



自動車の原点、織機が生まれたまち湖西
歴史と着物をまとうひととき



土に触れ、心豊かな時間を。思い出をカタチにする陶芸体験

評価軸③(4)18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
		項目	現在の状況
		歴史的風致維持向上支援法人との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和6年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	民間団体や市民も含め、地域が一体となって歴史的風致の維持及び向上の一層の推進を図るため、法に基づき、市が歴史的風致維持向上支援法人（以下、支援法人）として指定する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
支援法人のNPO法人わたぼうしグランドデザイン、（一社）College Impact Japanの取組み ・国土交通省などが審査員を務める都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」特別賞を受賞 ・勝坂神楽、川名ひよんどりに係る伝統芸能の継承と地域づくり			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	支援法人として指定した後、市単独では担うことができない分野や事業について、さらなる法人の主体的な取り組みを期待している。		

状況を示す写真や資料等

特別賞 「都市景観の日」実行委員会会長賞

景観まちづくり活動・教育部門

川名ひよんどりの里 ～市民が育む歴史と風土に根ざした暮らしの景観～

活動エリア 静岡県浜松市

応募者 川名ひよんどり保存会、NPO法人わたぼうしグランドデザイン、一般社団法人College Impact Japan、浜松市



川名集落の暮らしの景観。(川名川沿いの低地に営まれる水田と雑木)



「かわなぬーもーズ」実施状況。(地域の小学生とそれを指導するNPO法人と一般社団法人の若様)



伝統行事「川名のひよんどり」準備作業に参加する若者。



伝統行事「川名のひよんどり」に参加する若者。

国土交通省などが審査員を務める都市景観大賞
「景観まちづくり活動・教育部門」特別賞を受賞

03.地域外の若者による次世代への接続

勝坂神楽ツアー



勝坂神楽保存会と歴まち支援法人の取組



川名ひよんどり600年を祝う会へ参加する
歴まち支援法人

01.伝統芸能継承 川名のひよんどり



制作 NPO法人わたぼうしグランドデザイン
川名のひよんどり公式サイト

02.メディアとデジタル活用



真の動作をAI化

デジタル技術を活用して伝統芸能・保存会をサポートする歴まち支援法人

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	浜松地域遺産制度(認定文化財制度)を活用した未指定文化財の発掘及び保護意識の高揚に努めるほか、新規指定の可能性を検討していく。文化財修理にあたっては、文化庁をはじめ、静岡県文化財課、浜松市文化財保護審議会など関係機関、専門家と連携して行うほか、所有者の負担を軽減するため、補助制度を活用するなど、技術的・財政的な支援を行う。特に重要な文化財修理については、個別の保存活用計画策定するなど計画的に行う。文化財周辺環境を整備し、文化財保護と見学環境整備に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
認定文化財を募集し、浜松市文化財保護審議会に意見を伺い、年度末に認定を予定している。各種補助金などを活用し、文化財修理や周辺環境整備を行っている。特に重要な文化財の修理や周辺環境整備にあたっては文化財個別の計画策定を進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	認定文化財からの新規指定の可能性を検討する。 文化財価値の維持、魅力向上のための修理・周辺環境整備事業を計画的に進める。		
状況を示す写真や資料等			
<p>○浜松市文化財保護審議会 第1回令和7年8月12日開催、第2回令和7年12月22日開催、第3回令和8年3月3日開催</p> <p>○認定文化財の募集 浜松市認定文化財活用事業を参照</p> <p>○文化財修理、周辺環境整備、個別計画策定 詳細は各事業を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業 ・光明山古墳保存活用事業 ・蜷塚・伊場遺跡再生プロジェクト ・浜松城跡保存活用事業 ・三岳城跡保存活用事業 ・歴史的建造物保存活用事業 ・龍潭寺山門保存修理事業 ・旧田代家住宅保存活用事業 			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財及び文化財保存活用施設の管理		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存・活用を行う施設について、老朽化が進んだ施設の再整備、収蔵資料の整理分類を行う。展示・収蔵にあたっては、収蔵品のデジタルアーカイブ化など時代に即した方法の導入を図る。各種補助制度を活用しながら、寺院などへの消防・防犯設備の設置を促進するほか、文化財の保存修理にあわせ、可能な限り、耐震診断と必要に応じて耐震補強工事を行っていく。本市が所有又は管理団体に指定されている建造物について、消防用設備の保守点検を適切に行うなど防災に努め、史跡においては、自然災害への適切な対策を検討し、非常時に備える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
施設や設備の老朽化等に伴う改修・修繕を随時実施し、施設や文化財の保存環境を整えている。文化財の防災設備の修理及び点検を実施し、文化財本体の保存修理にあたっては、事前に耐震診断を行っている。浜松市が「市有施設脱炭素化方針」を策定したことに伴い、文化財施設の照明LED化工事を進める。市内の文化財に関心を寄せてもらい、災害時だけでなく、平常時までを活動範囲とする文化財サポーター制度では、文化財に関する情報発信と文化財講座を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き文化財及び文化財保存活用施設を適切に管理する。		

状況を示す写真や資料等

- 文化財の保存・活用を行う施設の整備・収蔵資料整理 詳細は各事業を参照
 - ・蜷塚・伊場遺跡再生プロジェクト
 - ・浜松市地域遺産センター整備事業
 - ・指定文化財等のデジタルアーカイブ事業
- 文化財の防災設備修理・点検、耐震診断・補強工事など防災対策 詳細は各事業を参照
 - ・二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業
 - ・浜松城跡保存活用事業
 - ・龍潭寺山門保存修理事業
 - ・寶林寺仏殿・方丈管理事業
 - ・旧田代家住宅保存活用事業
- 文化財防災ボランティアの養成 文化財防災ボランティア養成事業を参照
- 文化財防火デー実施施設 中村家住宅、舞坂宿脇本陣、博物館



文化財防火デー実施状況 (左：舞坂宿脇本陣、右：中村家住宅)

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本市が所有又は管理する文化財の公開に努め、市民が文化財に親しむ機会を提供する。市は所有者や保存団体に限らず、広く文化財の担い手との協働を進め、講座・現地説明会などの機会や各種媒体を活用し文化財の魅力を発信する。将来の担い手たる子供たちが地域の伝統行事・伝統芸能に触れ、親しむ機会を創出し、伝統行事・伝統芸能の保存会の活動を活性化し、芸能を披露する機会を提供する。埋蔵文化財包蔵地における開発に係る届出などを周知し、埋蔵文化財の保護を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市が所有又は管理する文化財を公開し、文化財保存活用施設においては収蔵文化財を展示した。文化財の活用・展示にあたり、一部は文化財関係者と協働で事業を実施した。無形民俗文化財の次世代への継承活動を行うとともに、保存会の活動を支援し、情報発信を行った。埋蔵文化財包蔵地における開発においては、埋蔵文化財の保護を図り、発掘調査結果については、出土品を整理し、展示や講座を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 引き続き文化財の保存及び活用の普及・啓発を行う。
--	--

状況を示す写真や資料等

○文化財の公開・情報発信

・所有管理する文化財、文化財保存活用施設に関するもの



旧田代家住宅七夕まつり
 令和7年7月12日～8月31日
 ※静岡文化芸術大学/静岡県立天竜高等学校と共催



中村家住宅
 令和6年10月25、26日
 ※ゆうとうまちづくり協議会と共催



賀茂真淵記念館
 平常展 賀茂真淵と近世国学者の国語研究
 令和7年5月29日～9月23日
 令和8年1月4日～5月24日



内山真龍資料館
 特別展 真淵の生涯
 令和8年1月7日～3月8日

・浜松市地域遺産センターにおける公開・情報発信 詳細は浜松市地域遺産センター整備事業を参照

○無形民俗文化財の次世代継承、活動支援など 詳細は各事業を参照

- ・無形民俗文化財保存・伝承事業
- ・無形民俗文化財公開・活用等事業
- ・無形民俗文化財活性化支援事業

○埋蔵文化財の保護、調査成果の公開 詳細は各事業を参照

- ・浜松市地域遺産センター整備事業
- ・二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業
- ・光明山古墳保存活用事業
- ・浜松城跡保存活用事業

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
	評価対象年度	令和7年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
奥浜名湖の山城 歴史や構造解説 浜松市浜名区で講演会	2025/6/19	静岡新聞
静岡県指定文化財・龍潭寺山門の復元祝う	2025/7/4	静岡新聞
県有形文化財 龍潭寺山門の改修終わる 浜松で見学会	2025/7/6	中日新聞
浜松・天竜区「旧田代家住宅」で七夕まつり 文芸大・天竜高共催	2025/7/13	静岡新聞
旧ドラマ館を改修、屋内広場へ 浜松市改修案 27年6月にも市民利用へ	2025/8/21	中日新聞
ドラマ館の屋内を広場に 国史跡指定までの暫定供用 浜松市方針	2025/8/21	静岡新聞
江戸時代の船旅を再現「今切の渡し」体験会 10月からツアー開始	2025/9/27	静岡第一テレビ
400年続いた「勝坂神楽」26日、最後の奉納へ	2025/10/19	静岡新聞
400年舞い納め 天竜・春野の伝統民俗芸能・勝坂神楽	2025/10/27	中日新聞
陶芸や寺宝 秋の特別展	2025/10/30	中日新聞
初山宝林寺で市民らお茶会	2025/10/31	中日新聞
「川名ひよんどり」600年の伝統脈々と	2026/1/5	静岡新聞
600年目の川名ひよんどり	2026/1/5	中日新聞
伊場遺跡群テーマの座談会にAI登壇	2026/1/14	静岡新聞
徳川資料施設、浜松城周辺3カ所を例示 市民にも意見募る	2026/1/20	静岡新聞
徳川家ゆかりの資料展示施設 浜松城公園内3カ所候補	2026/1/20	中日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史的風致維持向上計画に掲載している取組が報道されたことにより、市民への歴史まちづくりの関心が高まる機会となった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	報道による周知効果に限らず、市民や社会の関心を把握するためにも、今後も情報収集に努める。	
状況を示す写真や資料等		

評価軸⑥-1
その他(効果等)

		評価対象年度	令和7年度
項目			
住民意識や認知度の向上			
計画に記載している内容	市民や来訪者が歴史的風致の価値を知り、認識を向上するためには、歴史的風致を構成する文化財への理解を深めることが重要である。継続的な調査研究、情報収集・発信、公開・展示、普及啓発を行うことで、文化財など歴史的風致の認識を積極的に高めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
重点地区／指標とする施設／令和7年度来館者数(R8.3時点)／前年度比 ・表浜名湖重点地区／旧舞坂脇本陣／5,363人／1.41倍 ・奥浜名湖重点地区／気賀関所／11,646人／1.18倍 ・天竜二俣重点地区／本田宗一郎ものづくり伝承館／26,840人／1.28倍			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			

状況を示す写真や資料等

◆指標とする施設ごとに来場者数と令和4年度比

重点地区 指標の施設	表浜名湖重点地区 旧舞坂脇本陣		奥浜名湖重点地区 気賀関所		天竜二俣重点地区 本田宗一郎ものづくり伝承館	
	来場者数(人)	令和4年度比(倍)	来場者数(人)	令和4年度比(倍)	来場者数(人)	令和4年度比(倍)
令和4年度(基準年)	3,812		9,863		20,977	
令和5年度	4,700	1.23	10,669	1.08	21,485	1.02
令和6年度	4,289	1.13	10,279	1.04	20,995	1.00
令和7年度	5,363	1.41	11,646	1.18	26,840	1.28

◆浜松市歴まちカード

浜松市の歴史スポットを紹介する「歴まちカード」を3地区ある重点区域ごとに配布し、国指定等文化財や歴史を感じる町並みの散策、市内を周遊する機会や地域間連携の創出、滞在時間や来街者の増加を生むとともに、地域住民の歴史や文化財に対する愛着や誇りの醸成に繋げています。



表浜名湖重点地区

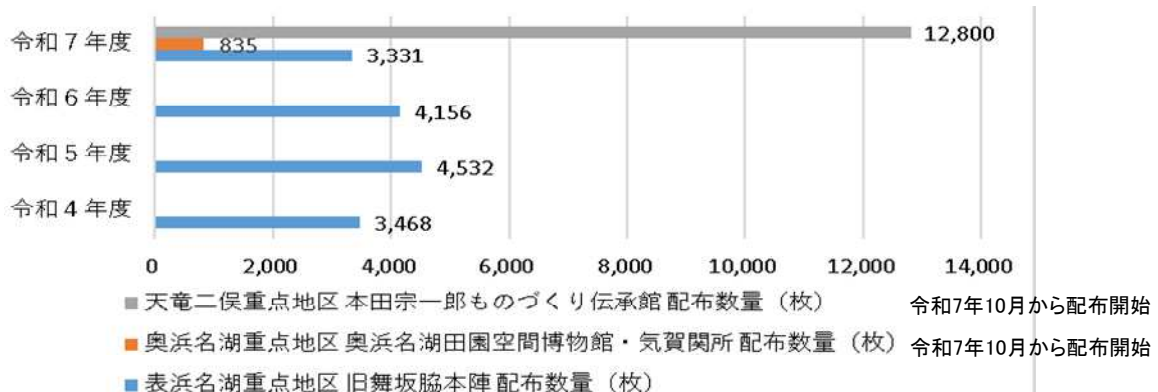


奥浜名湖重点地区



天竜二俣重点地区

施設ごとの歴まちカード配布数



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

令和7年度

評価対象年度	
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:	浜松市歴史的風致維持向上協議会
会議等の開催日時:	令和8年3月5日(木) 14:00~16:00
開催場所:	浜松市地域情報センター3階 第一研修室
(コメントの概要)	
【①組織体制】	
特になし	
【②重点区域における良好な景観を形成する施策】	
特になし	
【③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】	
計画通りに進行していない事業が3つある。理由を教えてください。	
[静岡県文化財課]	
指定範囲を示す構造物が見つからず、指定範囲の復元には予算	
と時間を要するため。[市文化財課]	<p>協議会の様子</p>
【④文化財の保存又は活用に関する事項】	
特になし	
【⑤効果・影響等に関する報道】	
特になし	
【⑥その他(効果等)】	
特になし	
【情報提供】	
国土交通省中部地方整備局から、景観・歴史・文化資源をより積極的に活用するため、歴史まちづくり行政と景観行政の新展開に向けた動向や参考となる取組事例を紹介いただいた。	<p>情報提供の様子</p>
【取組紹介】	
委員A【市民主権・浜松歴まち検定の実施について】	
令和7年10月から令和8年1月にかけて、市内12地区の歴史的風致に関する検定問台100問を解答する企画を実施した。検定用紙は市内公共施設や文化振興財団HPIにも掲載した。結果、66名から解答があり、2月中旬には答合わせのフォーラムも開催した。	
委員B【川名ひよんどり・勝坂神楽への取組について】	<p>取組紹介の様子</p>
歴まち支援法人として、無形民俗文化財・伝統芸能の継承に携わってきた経過を紹介した。特に、勝坂神楽には平成28年度から令和7年度まで10年間にわたる活動を報告した。	
委員C【広重が描いた舞坂宿について】	
舞坂郷土資料館の企画展示とあわせ、広重が描いた舞坂を紹介するリーフレットを作成した。浜名湖の今切を渡る船の様子が描かれた浮世絵など、当時の往来を今に伝える資料を紹介した。	